

2018年2月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

釧路

KUSHIRO

歯と口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会
日時：平成29年12月9日(土)

午後3時から午後5時50分

場所：釧路会館 大講堂

<プログラム>

1. 在宅歯科医療連携室の概要について
釧路歯科医師会理事 伊藤隆志
2. 模擬ミールラウンド
3. 地域包括ケアが求める高齢者の食支援をめざして～「食べる力」の見える化と連携の構築～

公立能登総合病院 歯科口腔外科
部長 長谷剛志 先生

厚生労働省在宅歯科医療連携室整備事業に基づき、介護職、保健師、看護師栄養士など方々を対象とした標記講演会が昨年につづき、長谷先生を招き開催した。

講演では認知症の病態、特徴を理解した上で「食べる力」を評価し、適切な食支援を行なう上での留意点や食事支援サポートソフト「い〜とみる」の使用方法や使用例、咀嚼開始食品「プロセスリード」の用途についての説明があった。



非常に軽快でお聞きしやすい長谷先生の講話に、受講者からも高評価をいただいた講演であった。



(伊藤隆志 記)

12月三木会(忘年会)

日時：平成29年12月21日(木)

場所：釧路倶楽部

今年を締めくくる12月三木会(忘年会)が開催された。今回は最近オープンし、釧路の夜景を堪能できる隠れ家『釧路倶楽部』にて行われた。

中谷会長から平成30年に予定している創立70周年記念事業に向けての意気込みが語られ、開会の挨拶をし、大島副会長の乾杯の挨拶で開宴した。

各々、今年一年公私ともお世話になった先生方に挨拶をし、同僚達と次年度への抱負を語りあい、楽しそうに杯をかわしていた。「来年がよい年になりますように」と辻副会長のかぶりものなしの挨拶でお開きになった。38名が出席した。



(栗野俊哉 記)

千歳

CHITOSE

クリスマスファミリーパーティー 2017

日時：平成29年12月2日(土)

午後5時30分より

場所：ANAクラウンプラザホテル千歳

恒例のファミリーパーティーが開催され、今年は76名の会員、家族の方々が参加された。

杉江会長の挨拶、佐竹先生の乾杯でパーティーが始まった。

今年は千歳歯科医師会にとって、ピックアップイベントであった北海道歯科医師会野球大会でも行われた『テーブル対抗格付けチェック』があり、井口先生、須貝先生の進行により、ビールと発泡酒、安物ワインと少々お高いワイン、生花と造花などの見た目にはわからない問題が出題され、最終問題にギネスブックで「世界一辛い唐辛子」と認定されたブートジョロキアの入ったサドンデスソース(100,000スコヴィル)を注入した、ロシアンたこ焼きで大いに盛りあがった。

そして、みなさんお待ちかねのビンゴ大会!

今年の景品は

- 1等賞 シークレット商品 → ダイソン掃除機
- 2等賞 ドローン

3等賞 赤外線ロースター

などの高価な商品からお米や果物、お菓子等々。

今回はなかなかビンゴが出ないなか、一番にビンゴした能登原先生のお孫さん!!そしてドローンをゲットしたのは宮崎先生だった。その後も次々と商品が渡り、楽しい時間もあっという間に過ぎていき、じゃんけん大会の後、渡辺先生の締め乾杯によりクリスマスファミリーパーティーはお開きとなった。

今年も厚生部の先生方のおかげで楽しいパーティーが開催されたことに感謝いたします。お忙しい中でのご準備たいへんお疲れ様でした。

(山本孝之 記)

千歳市歯科医師会忘年会

日時：平成29年12月8日(金)

午後7時より

場所：千歳市『小良里 季月』にて

千歳市歯科医師会忘年会は今年もホテルではなく11月15日(水)に移転リニューアルオープンした『小料理 季月』にて開催となった。



当日は雪で高速道路通行止めのため、一般道も混雑していた。

赤堀先生に乾杯の挨拶をいただき、開宴となった。旬のこだわり食材の美味しい料理とお酒を楽しみながら盛り上がっていた。



村上(忠)先生にお話しをいただき、締めの乾杯で午後9時終了となった。当日24名出席だった。

(田村 基 記)

平成29年 恵庭市歯科医師会忘年会

日時：平成29年12月9日(土)

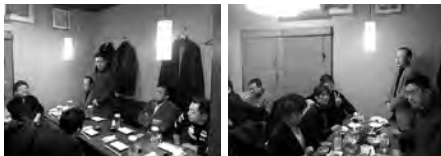
午後6時より

場所：恵庭市「鳥焼商店」

恵庭市歯科医師会の忘年会が会員17名の参加で行われ、理事会があつて等で後からいらっしやった先生もいたが、ほぼ定刻に始まった。

平中会長より口腔衛生キャンペーンや歯科健診、歯科講演会等にたずさわった先生方への感謝とねぎらいと来年もまたよろしくとの言葉があり「かんぱい!!」で宴会が始まった。

おいしい料理とおいしいお酒に囲まれ、



皆さん日々の忙しさから解放され、大いに盛り上がっていた。

最後に村松副会長の挨拶と乾杯で1次会は終了となった。

(山本孝之 記)

平成29年度 恵庭市・恵庭市歯科医師会懇親会

日時：平成29年12月13日(水)

午後6時30分より

場所：恵庭市「鳥焼商店」

恵庭市と恵庭市歯科医師会との懇親会が行われ、今年は恵庭市より恵庭市長、恵庭市教育委員会教育長、保健福祉部・子ども未来部・教育部の各部長他、計13名、恵庭市歯科医師会より10名の参加となり、恵庭市長の原田 裕 様と恵庭市歯科医師会会長の平中先生より挨拶の後、教育長の穂積邦彦 様の乾杯の挨拶で会が始まった。



毎年恒例となっている本会合は今年で10回目となり、口腔の健康と全身の健康との関係等の最新情報を市に直接伝えることができる貴重な時間となっており、広く市民にも口腔に関心を持ってもらえるようなアプローチするためにも、続けていくことによって、さらに有意義な機会となっていくのではないかと思います。

(進藤勝久 記)

北見

KITAMI

第30回 北見学会

日時：平成29年11月25日(土)

午後3時30分～午後7時40分

場所：北見歯科医師会館

本年の北見学会特別講演は、講師として麻生 歯科クリニック院長 CAMBRA公認インストラクター 麻生幸男 先生をお招きして、カリエスリスク評価システム「CAMBRA」に関して講演いただいた。



CAMBRA とは、Caries Management by

Risk Assessmentの頭文字をとったものであり、「リスク評価に基づくう蝕管理」と訳されている。その特徴は大きく二つ。一つ目は、評価フォームにチェックをつけるだけで、リスクの判定ができるシンプルなリスク評価システムである。二つ目は、決定したリスクに基づいて、どのような予防管理をするか、例えばフッ化物配合歯磨剤をどの程度の量や頻度で用いればリスク抑制の効果が期待できるか、などといったガイドラインが定められていることである。

このCAMBRAの具体的な運用方法について、実際に行われている診療フローを例に紹介していただいた。予防歯科臨床において最も重要なのは、患者自身が口腔内のリスクを自覚すること、そしてそれは自分でコントロールするべきものだという意識を持つことが重要であると

話しされたことが印象的だった。

その後、一般口演として「当院におけるCAMBRAを使ったカリエス予防、メンテナンスの実践」たねだ歯科クリニック 佐藤砂也佳さん、「15年を経過して、EichnerA2からB2へとってしまった一症例、～破折、う蝕～抜歯～インプラント～インプラント周囲炎～ 大島歯科医院 大島康男 先生、「セメント質剥離について」菅歯科医院 菅 希理夫 先生、「Pockyはなぜ長い? 違うよね総義歯患者の指導法?」こうえい歯科医院 横尾孝典 先生の発表が行われた。(丸子修史 記)

北見歯科医師会忘年会

日時：平成29年12月2日(土)

場所：ホテル黒部

金山会長、来賓挨拶の後、朝田副会長の乾杯のご発声の順で忘年会が始まり、美味しい料理とお酒をいただき、和気あ

いあいの雰囲気の中、忘年会が行われた。

今年は、昨年に続き、余興では各部対抗カラオケ大会が行われ、誰が勝つか予想して景品を懸け、大いに盛り上がった。

最後は、恒例のビンゴゲーム。初めに当たったのは、いつも大変お世話になっている上田事務長。来年もよろしく願います。

団役員の演出と進行で、笑いの絶えないひと時を過ごせた。

(丸子修史 記)



十勝

TOKACHI

医療管理講習会
日時：平成29年11月30日(木)
午後7時30分～午後8時30分
場所：十歯会館 2F 講堂
講師：北海道社会保険労務士会
十勝支部支部長 外崎裕康 先生
題目：「先生それ、ブラックですよ」

国がかかげる「働き方改革」や一昨年とある広告代理店に起こった出来事で、労務管理について気を使わなければならない社会になってきた。
あとで困らないようにということで、外崎裕康 先生をお招きし、「先生それ、ブラックですよ」と題し、ブラック企業にならないため、またブラック企業のようにしているかもしれないので、脱ブラックを目指し、労務管理講習会を開催した。
平日の夜にもかかわらず、33名の参加者があり、会員の関心の高さがうかがえた。



曖昧にしがちな残業や有給休暇について詳しく話され、最後にはいつになく多くの質問があり、今年話題になったパワハラ議員？を想像させるような内容の質問も飛び出した。
きっとこれからの仕事に役立つ講習会となったことだろう。(竹重和郎 記)

十歯野球部納会
日時：平成29年12月1日(金)
午後7時30分より
場所：ふじもり
GW明けの練習から始まり、全道歯科医師野球大会でのAチーム連覇、そして秋の全国大会出場と、昨年に続き、飛躍の1年となった十歯野球部の今年度納会が開催された。
練習打ち上げ・祝勝会・壮行会・慰労会と今年も美味しいお酒をいただく機会が多かったが、締めくくりの納会では色々あった今シーズンを振り返ると共に、各人が来年の全道大会へ向けての英気を養った。
年々、選手減に悩まされる野球部ではあるが、A・Bチームの2チーム体制で函館に参戦できるように十歯野球部部員の皆様、参加をよろしく願います！



(南館直人 記)

十勝歯科医師会拡大役員会
日時：平成29年12月8日(金)
午後7時より
場所：はげ天
毎年末恒例の十歯会拡大役員会が、今年度理事者に加えて、相談役・道歯代議員・歯科国保組合会議員の先生方をお招きして開催された。
大滝会長の挨拶後に執行部から会務報告・会計現況報告、大熊支部長より歯科国保組合会報告があり、続いて十歯会相談役の有田修造 先生の音頭で乾杯となり、忘年会を兼ねた宴会へと移った。
十歯会の役員と事務局・連携室のメンバーが一堂に会する機会は標記役員会のみであり、メンバー同士の懇親もさらに深まり、今年も有意義な時間を過ごした。(南館直人 記)

囲碁・将棋部忘年会
日時：平成29年12月18日(月)
午後7時より
場所：十勝ダイニング ふる屋
囲碁・将棋部の忘年会が開催され、出



席者は森 政成 先生、家内典夫 先生、高橋哲史 先生、船津三四郎 先生、野江康郎 先生、成田安弘 先生、吉川修平 先生、私こと松橋の8名だった。
昭和40年には、すでに活動していた由緒ある誉れ高き本部会の50年目(?)にあたる忘年会に相応しく、「年末ジャンボ宝くじに当選したら困るよな!」や「タクシーがつかまらない」、「芽山の山わさびはもっと効くぞっ!」、「スパイク底の靴を履いていたら転んだ」等々。それはそれは大変高尚な会話ではじまった。
無論それだけではない。日本の高齢化に対するの深いうんちく‥「春に雇用した歯科助手3人がめんこい! 彼女達のために毎朝朝礼後から頑張る気持ちになる(涙)」、「先生は従業員のために働いている」、「やはり囲碁部は素晴らしい!!」(笑)
先諸兄の数々の有意義な講話と美味なる料理の数々を堪能しながら、ホロ酔い加減で今年の終わりを感じたひと時だった。また来年も皆様で愉快地呑めることを祈念しつつ終宴となった夜だった。(松橋智史 記)



札幌

SAPPORO

第50回十三大市歯科医師会役員連絡協議会
日時：平成29年11月11日(土)
場所：さいたま市「パレスホテル大宮」
さいたま市歯科医師会主催の十三大市歯科医師会役員連絡協議会に、山田会長をはじめ7名の役員が出向した。
協議会は二部構成で、第一部では厚生労働省医政局歯科保健課の和田康志 氏より、「地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割」と題し、基調講演が行われた。
第二部では今回のメインテーマ「地域包括ケアシステムにおける歯科医師会の現状と展望」について、さいたま市歯科医師会より説明があった。また後半では、協議会の名称変更について、今後は協議会に参加する歯科医師会の数に左右され



ない名称への変更の検討や、協議会自体の在り方なども協議され、特に歯科界にメッセージを発信していけるような会へと発展させてはどうかなどの意見も出された。(針谷宜宗 記)

第67回全国学校歯科医協議会出向
日時：平成29年11月16日(木)
場所：三重県総合文化センター 多目的ホール
三重県歯科医師会 大杉和司 副会長の開会の辞に始まり、三重県歯科医師会 田所 泰会長、日本学校歯科医会 川本 強会長より挨拶、前回開催県である北海道歯科医師会 藤田会長より前回大会の報告があった。
「学校保健から見た児童虐待 一学校歯科医の関わり」と題して子ども虐待防止歯科研究会 森岡俊介 副会長から、「児童虐待予防 三重県歯科医師会10年の歩み」として三重県歯科医師会 羽根司人 副会長から2題の講演があった。(清水健司 記)

平成29年度全国学校保健・安全研究大会出向



日時：平成29年11月17日(金)
場所：三重県総合文化センター 多目的ホール
課題別研究協議会にて、午前中の第2課題で「生涯を通じて健康の保持増進を目指す疾病予防と保健管理の進め方」のテーマで、3名の研究発表があった。また、日本学校保健会 弓倉 整 専務理事より「Health Promoting Schoolの概念と我が国の保健管理」の講義が行われた。
午後からの第5課題では「生涯にわたる健康管理の基礎となる歯・口の健康づくりの進め方」のテーマで、3名の研究発表があった。(辻村祐一 記)

札幌歯科学院専門学校創立50周年記念行事
日時：平成29年11月25日(土)
場所：京王プラザホテル札幌
創立50周年を迎えた札幌歯科学院専門学校での記念式典、記念講演会、祝賀会が举行され、秋元克広札幌市長をはじめ、各関係団体・機関、各養成校の代表者、同窓生など多数の関係者が出席された。



式典では、山田会長、尾崎学院長の式辞、来賓の藤田一雄 道歯会長、吉田智之 本学院同窓会会長より祝辞を頂戴した後、本学院の育成・発展に尽力いただいた功労者へ山田会長より表彰状と記念品が贈呈された。
表彰後、受賞者を代表して佐々木八郎元学院長より謝辞が述べられた後、杉本副学院長の閉会のことばで式典が閉会となった。
また、式典に先立ち開催された記念講演会には、メディア等で活躍の杉村太蔵氏をお招きし「太蔵流 自己プロデュースで人生を変える方法?!」と題した市民公開講座に400名程の市民が聴講されたほか、祝賀会も盛大に開催され、本学院設立50周年を祝う記念事業は無事、滞りなく終了した。



小樽

OTARU

糖尿病と歯周病に関わる研修会
「QOLを維持する糖尿病治療とは？」
日時：平成29年12月2日(土)
午後3時より
場所：小樽経済センタービル

道歯主催の標記研修会が開催され、講師は糖尿病専門医のNTT東日本札幌病院 副院長、内科診療部長である吉岡成人 先生と、歯周病専門医である北海道大学高次口腔医療センター准教授の根岸 淳 先生であった。
吉岡先生は、2型糖尿病の増加と糖尿病治療中断者が年間50万人に上ること、患者の高齢化などの現状、糖尿病関連疾患などの話をされ、高齢者は低血糖を起こしやすいことから、年齢や認知機能に合わせたHbA1cの目標値設定の必要性、糖尿病治療薬と血糖管理について話された。会場からはステロイド糖尿病についての質問があった。
根岸先生は、歯周病と全身の健康、特に糖尿病との関係について数々の論文を示したほか、歯周病治療と欠損補綴による咀嚼機能の回復が、血糖コントロール



に寄与することを実際の口腔内写真も交えて解説し、基本的な歯科治療を確実にを行うことの必要性を強調された。さらに、北海道大学における糖尿病教育入院中の歯科プログラムの紹介や、病院歯科以外では、地域連携のため「糖尿病連携手帳」が役立つことを話された。会場からは、治療中断についての質問があった。
最後に道歯から、糖尿病教室歯科口腔教育支援について情報提供があり、散会した。出席者は34人であった。(中村悦子 記)

リカバリー事業研修会
日時 平成29年12月3日(日)
午前9時より
場所 小樽歯科衛生士専門学校
第2回歯科衛生士リカバリー事業研修会が行われた。今回の受講者は、20年ぶりに歯科衛生士に復帰し、半年ほど勤務をしている方と専業主婦をされていて、今後、復帰を目指している方の2名であった。
最初はスライドを使って講義を行い、その後、歯牙模型を使用してのCR充填、シャープニングとキュレットスケーラーを使用しての実習等を行なった。どちらの方も長く現場を離れていて復帰に不安を感じられており、この講義が不安解消と現場復帰に役立ったと感想を述べていた。(山口大樹 記)



社会保険講習会
日時：平成29年12月9日(土)
午後2時30分より
場所：小樽市歯科医師会館
標記社保講習会が開催され、最初に社会保険診療報酬支払基金北海道支部から誤りの少ないレセプト作成のために「保険診療に係る留意事項」について資格関係再審査返戻状況・請求事例等の詳しい説明が行われた。
その後、北海道歯科医師会 社会保険担当常務理事の井谷秀朗 先生から平成29年12月1日より保険適用になるCAD/CAM冠用材料(Ⅱ)(セラスマート300)の取り扱いについての説明が行われ、さらにCRインレーの留意点、カルテ記載、指導・監査状況、算定誤りの多い事例、疑義解釈の説明と多岐に渡り、行われた。
土曜日の午後であったが、30名ほどの会員が集まり、活発に質疑応答が行われ盛況のうちに終了となった。(山口大樹 記)

デンタル・タウンミーティング in 小樽
日時：平成29年12月9日(土)
午後4時30分より
場所：小樽市歯科医師会館
冷え込みが強いながらも晴天に恵まれたこの日、標記ミーティングが開催され、道歯から、藤田一雄 会長・高橋雅一 副会長・大西良近 専務理事・井谷秀朗 常務理



事が来樽。大西良近 専務理事の司会により、開会した。
初めに、藤田一雄会長、市村昌久 樽歯会会長より挨拶がなされた。続いて、資料を基に今後の北海道歯科医師会における当面の課題、中央情勢など8項目にわたる事項が報告された。
ここで、司会が兵藤博昭 樽歯連盟専務理事に司会が一時交替。地元選出の中村裕之 衆議院議員、八田盛茂 道議会議員、小樽市議会議員よりそれぞれ国政、道政、市政報告があった。また、樽歯会会員でもある中村悦子 小樽市保健所主幹からは、小樽市歯周病対策事業である「あなたの歯は何本？」事業についての取り組みがスライドを基に報告された。
報告事項が終わったところで、再び司会が大西良近 専務理事に交替。質疑を含めてのその他に移った。後期高齢者歯科健診事業に関し、受診率が低いことが指摘され、議員に要望がなされた。また、「健診の受診率を向上させ、窓口一部負担金を2割に引き上げようとする動きがあるのではないか?」との質問があったが、「健診と窓口一部負担金はリンクしない」との回答を得た。
終了時間を若干過ぎたが、高橋雅一 副会長の閉会の辞でミーティングは終了した。(野 隆広 記)



苫小牧

TOMAKOMAI

平成29年度8020表彰式全体説明会

日時：平成29年11月1日(水)

午後7時30分より

場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室2



標記説明会が地域医療部会員、出動会員、歯科衛生士会会員に向けて行われた。

昨年までは8020表彰式は「歯の健康まつり」の一環として開催されていたが、今年からは、歯の健康まつりでの事業は苫小牧市主催による「健康フェスタとまこまい2017」にて行われているため、8020表彰式は単独の事業として執り行われることとなった。

昨年までと大きく異なることが2点あり、1点目は単独開催による表彰式であるため、会場規模が3分の1で済むこと、それに伴う準備も負担が小さくなること。

2点目として、昨年までは80歳以上で20本以上残存している方であれば何度でも表彰対象となったのだが、今年からは過去に表彰を受けていない方だけを表彰対象としたため、例年の3分の1程度の表彰者数となっていることである。

準備内容には例年と大きな変化はないが、初の単独開催として前日の設営準備、当日の流れ、表彰式終了後の手順などを確認した。(関 俊也 記)

平成29年度苫小牧歯科医師会8020表彰式

日時：平成29年11月5日(日)

午前9時開場

場所：苫小牧市民活動センター 多目的ホール

例年「いい歯の日」にちなんだイベントとして行われてきた「歯の健康まつり」から独立して、今年からは単独の事業として8020表彰式が執り行われることとなった。

当日は風が冷たいものの、日差しの温かな穏やかな日となり、朝9時の開場から表彰式への参加希望があった33名が来場された。開場から表彰式開始までの間は、当会会員 道谷先生から「歯と健康」という演題で講演を、北海道歯科衛生士会苫小牧支部 本田支部長から「あなた

のお口の元気度は？」という演題の講演をいただいた。

午前10時からの表彰式では苫歯会 牛丸会長、北海道苫小牧保健所 石井所長、苫小牧市 岩倉市長より祝辞をいただき、牛丸会長から33名一人ずつに表彰状の授与が行われた。例年よりも会場表彰者数を制限したことで、スペースに余裕が生まれ、列席のご家族が表彰されている姿を写真撮影することも可能となり、受賞者にとっても記念になったことと思われる。

今後の8020表彰式の事業としてのあり方など課題はあるものの、今年の表彰式としては会場表彰33名、会員歯科医院での表彰82名のあわせて115名が8020表彰者となった。(関 俊也 記)



むし歯予防事業「歯っぴい白老」

日時：平成29年11月5日(日)

午前9時30分より

場所：白老町総合保健福祉センター

(いきいき4・6)

従来白老町で実施している乳幼児対象のフッ素塗布は3歳児健診までで、3歳半～小学校入学前の小児を対象として今年度から白老町と共催で標記事業を開催した。白老町内開業の当会会員による歯科健診・歯科相談の実施。歯科衛生士会苫小牧支部の3名の歯科衛生士によるフッ素塗布も加えて実施された。

事前に申し込み制とし、さらには30分ごとの来場に振り分けたこともあって、大きな混乱もなく実施できた。白老町では6月と11月の年2回実施していきたいとの意向もあり、来年度以降も継続していきたい事業である。(関 俊也 記)



後志

SHIRIBESHI

第2回学術講演会

日時：平成29年12月1日(金)

午後7時30分より

場所：余市町 ホテル水明閣

講師：北海道医療大学歯学部

口腔構造・機能発育学系

保健衛生学教授 千葉逸朗 先生

北海道医療大学歯学部の千葉逸朗 教授をお招きし、「口腔がんを見逃さないために」という



演題で講演いただいた。

当日はあいにくの悪天候にもかかわらず17名の参加があり、口腔内に発生する病変についてスライドを見ながら再確認した。我々開業医が早い段階で口腔内の異常に気づき、迅速に対応する力を付ける上でとても有益な内容で、会員一同改めて軟組織にも目を向けることの重要性を再認識するきっかけになった。

(高野秀喜 記)

第5回定例理事会

日時：平成29年12月2日(土)

午後5時より

場所：札幌第一ホテル

平成29年度第5回定例理事会が、後志歯科医師会忘年会に先立って行われた。各理事の報告等のあと、来年までの予定について確認がなされ、閉会となった。(藤 秀樹 記)



平成29年度後志歯科医師会忘年会

日時：平成29年12月2日(土)

午後6時より

場所：札幌第一ホテル

後志の忘年会は毎年札幌で開催されている。当日は天気が荒れることが多い。そして、今年も猛吹雪。ホワイトアウトに近い状況であったが、定時よりスタートした。

本年度は、北海道歯科医師会に入会してから42年間地域医療に貢献され終身会員となった柏谷先生、学校歯科医勤務24年で余市町教育委員会から学校保健功労

者表彰を受けた土方先生、後志歯科医師会ゴルフ部の年間メダリストとなった長澤先生、それぞれの表彰が練合会長より行われた。

長澤先生による余興は、地区別対抗戦で代表者がゲームを行うもので、大いに盛り上がった。(五十嵐 豊 記)

いい歯の日ポスターコンクール・黒松内

[掲示]日時：平成29年10月28日(土)・29日(日)

場所：黒松内総合町民センター

[審査]日時：平成29年12月6日(水)

場所：黒松内長教育長室

[出展作品]黒松内小学校2年生 26点

白井川小学校 2点

[受賞者]

後志歯科医師会会長賞 小笠原喬太(きょうた)

黒松内教育長賞 塚本夏世

構図、技術、メッセージ性、将来性などを考慮し上記2名の作品が受賞した。今後は、より高学年の参加を呼びかけたい。(茂尾か晴 記)



平成29年度 ボウリング部 12月月例会

日時：平成29年12月12日(火)

午後8時～午後9時30分

場所：ファミリーボウル岩内

今大会は土方(奥様)が幹事で余市の焼肉を賞品にしてくれた。優勝は伊藤。しばらくぶりであった。今回はドライレーンで皆、苦戦を強いられた。次回は1月9日(火)さて何にしようか？



	①	②	③	HDCP
優勝	伊藤	208	198	194 38→34
準優勝	中村	164	208	175 38→41
1位	井筒	187	152	162 49→57
2位	黒田	167	186	213 37→38
3位	青山	187	151	164 26→36
4位	山田	134	145	216 52→61
5位	土方妻	133	181	176 50→59
BB	土方	175	168	163 31→40
BM	長澤	154	138	152 30→48

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し、200からの80%で算出した。(伊藤 純 記)

室蘭

MURORAN

口腔がん検診普及推進事業3市3町打ち合わせ会議

日時：平成29年10月31日(火)

午後7時より

場所：室歯会館

今年度の口腔がん検診事業の反省と来年度の打ち合わせのため、室蘭市・登別市・伊達市・洞爺湖町・壮瞥町・豊浦町の各担当者とは会から塚田副会長、新田専務、須田・工藤両学術部長、日鋼記念病院口腔外科主任科長 榊原先生が出席し、上記会議が行われた。

今年度から新たに担当となった塚田副会長と須田・工藤両学術部長から自己紹介があった後、検診結果とアンケートの結果が報告された。また、新田専務より決算報告が行われた。

室蘭市・登別市・伊達市・洞爺湖町で開催されたが、検診希望者の増加もあり、直前に急遽、検診専門医を増員したことから行政との間で1名増員することを確認し、基本的には検診希望者を断らない体制で行なっていくことを合意した。また、榊原先生より、前がん病変ががん化する率が増加してきているとの話があり、同一人物の継続検診の重要性が説明された。

さらに地理的問題で検診会場に来られない方も参加しやすいような方法を考えていくべきという意見もだされた。

来年度も室歯会と行政の間の連携を深め、口腔がん検診事業を行なっていくことを確認し、終了した。(須田倫夫 記)

平成29年度 社保講習会

日時：平成29年11月10日(金)

午後7時30分より

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

講師：道歯会 中川英俊 常務理事

道歯会 中川英俊 常務理事を当会に招き、

標記講習会が行われた。

基本診療料、特掲診療料について、カルテの記入方法といった基本的な事柄から疑義解釈といった、誤りやすい点など短い時間の中で丁寧に説明していた。

吉田社保部長からも補足として請求について、誤りやすい点が説明された。参加していた会員の先生方も明日からの診療に反映できるよう、真剣に説明に聞き入っていた。(畠山雄一 記)

日本歯科医師会認定歯科助手資格認定講習会

日時：平成29年11月11日(土)12日(日)

18日(土)19日(日)

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

受講者：14名

室歯管内の歯科助手育成に重要な講習会として位置づけられている歯科助手認定講習会が上記日程で行われた。

開校式では、飯淵副会長よりこの講習会の意義や重要性が説明され、「しっかり学んでいてほしい」との挨拶があった。その後早速、接遇マナーセミナーが行われ、学校法人帯広コア学園の林 佳奈子氏より講義があった。また、室蘭市の方より認知症についての話や、毎年開催している室蘭消防署による救命救急講習といった講義が行われた。

なかでもAEDの実習は本番さながらの緊張感で、受講生たちも真剣な表情で取り組んでいた。担当の嶋津医療管理部長をはじめ、講師となる先生方の講義が行われ、各先生はいろいろ工夫をして、歯科助手としての知識と心構えを一人ひとりに確実に伝えるよう講義をされていた。

社会保険の実務に関する講習や歯科の基本知識に関する講習なども受講生たち



にとって有意義なものとなったと思われる。最後に感想文を書き、仲川会長より修了書が一人ひとりに授与され、欠席者もなく閉講式を終えた。(畠山雄一 記)

平成29年度「いい歯の日」に因んだ講演会

日時：平成29年11月19日(日)

場所：介護付有料老人ホーム セ・ジュネス

「いい歯の日」に因んで上記日程にて30名ほどが参加し講演会が行われ、講師として、登別の共立歯科クリニック副院長の原 善行 先生より実際の口腔ケアに関するさまざまな手技について話があった。

原 先生は普段より往診等で日常的に介護が必要な方のケアを専門的に行なっており、職員に参考になったと思われる。特に入居者の方に対する口腔ケアの実際の状況を考察し、改善点の説明や総義歯・部分床義歯の取り扱い、残存歯の有無によるケア方法の違いなど具体的な事例を挙げた説明は、とても参考になったと思われる。

昨年もセ・ジュネスで行い、2年目となり、介護職の方だけでなく、市民の方にも有意義な講演会になってきている。(藤井元太郎 記)



岩見沢

IWAMIZAWA

岩見沢歯科医師会表彰者披露式典&忘年会
日時：平成29年12月9日(土)
午後4時より
場所：岩見沢 平安閣

今年度は九津見紳一朗 先生、石井真生先生、加藤久尚 先生が学校保健功労者表彰、本間 純 先生が北海道歯科医師会終身会員表彰を受けられた。倉増 淳 会長

から表彰者が披露された後、記念品の贈呈が執り行われた。

披露式典の後、忘年会が開催され、渡邊孝一 衆議院議員をはじめ、松野哲 岩見沢市長など多くの来賓の方々からお言葉をいただき、4月から行われる診療報酬改定や今後の歯科界の重要性について等のお話いただいた。

その後、毎年恒例の「岩歯の活動1年の足跡」として動画が流され、会員の1



年間の労をお互いに食事とお酒でねぎらいながら、イントロクイズやビンゴ大会などで大いに盛り上がった。

(本間啓史 記)

平成29年度「高齢者の歯のコンクール」伝達式
日時：平成29年12月14日(木)
午前12時40分より

場所：空知総合振興局保健行政室
北海道「高齢者の歯のコンクール」で優秀賞を受賞された堀 利幸さん80歳(岩見沢市)に対し、道にかわり岩見沢保健所から表彰状を、道歯にかわり岩歯会から副賞を贈呈した。

新里勝宏 医療参事から「私たちの良いお手本です」などと、当会 倉増 淳 会長からは「口の健康は全身の健康につながります」などと、それぞれ挨拶の言葉があった。

当会からは、谷本圭太 副会長、山田貴文 地域医療理事も出席した。異口同音に“背筋が伸び、若々しい”と感想があった。



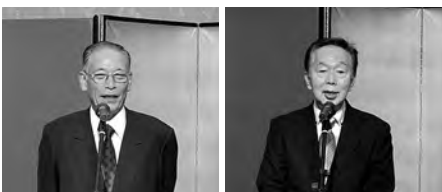
(久恒泰宏 記)

函館

HAKODATE

平成29年度 終身会員表彰記念式典
日時：平成30年1月6日(土)
午後5時より
場所：フォーポイントバイシェラトン 函館

標記式典が開催され、今年の終身会員になられた先生は、二俣繁治 先生(神奈川歯科大学卒)・北條邦彦 先生(愛知学院大学歯学部卒)・黒田芳男 先生(日本歯科大学卒)・青柳 明 先生(日本大学歯学部



卒)の4名の先生が表彰された。

田嶋会長より表彰された4名の先生に式辞が述べられ、表彰状と記念品の授与が行われた。その後、本日出席された北條邦彦 先生・黒田芳男 先生・青柳 明 先生よりご挨拶をいただいた。最後に、澤木副会長より閉会の辞が述べられ閉式となった。

(向山英明 記)

函館新年交礼会
日時：平成30年1月6日(土)
午後6時より
場所：フォーポイントバイシェラトン 函館

工藤壽樹 函館市長をはじめ、逢坂誠二 衆議院議員、川尻秀之 道議会議員、佐々木俊雄 道議会議員、佐古一夫 函館市議会議員、出村ゆかり 函館市議会議員と錚々たる顔ぶれがそろった中、総勢83名の参加者のもと標記交礼会が盛大に開催された。

函歯会田嶋会長より「2018年度診療報酬改定では、歯科の改定率が0.69%増となり、前回の改定率を上回るプラス改定となったが、決して甘んじてはいけない。これからの歯科界は、在宅・介護医療に今まで以上に、深く関わっていかねばならない」と挨拶をいただいた。



続いて、この度、北海道社会貢献賞を受賞された、永坂 信 先生に花束の贈呈と挨拶をいただいた。来賓挨拶として、工藤壽樹 函館市長・逢坂誠二 衆議院議員・萩澤正博 函館医師会副会長より挨拶を頂戴し、岩井祐司 函歯副会長の乾杯で開宴となった。

最後に、原田智史 北海道渡島総合振興局保健環境部部長による締めの乾杯にて終宴となった。

(向山英明 記)

函歯役員年末慰労会
日時：平成29年12月9日(土)

午後6時30分より

場所：ぼーの
標記慰労会が開催され、執行部・口腔保健センター職員・在宅歯科医療連携室職員・事務職員の総勢30名が出席した。

田嶋会長より「会長就任も2期目となり、前執行部の理事者がそのまま留任。そして、新たに新理事として2名の先生を増員し、さらなるパワーアップをした現執行部が発足し半年が過ぎましたが、我々に課せられている仕事は山のようにあります。今後も皆様のお力をお借りして会務運営をしていかなければいけません。今まで以上のご理解、ご協力をお願い致します」と挨拶をいただいた。

続いて、岩井副会長より「今後の歯科界は、地域医療連携型の歯科医療が今まで以上に重要視される時代となり、皆様のご協力をいただきながら地域医療に貢献していかなければなりません」と挨拶をいただき、乾杯となった。

各々が、今年一年間の労をねぎらいながら杯を交わし、来年への抱負を語り、慰労会は終宴となった。



(向山英明 記)

日高

HIDAKA

障がい者歯科医療連携推進のための研修会報告
日時：平成29年12月2日(土)

午後5時から午後7時
参加人数：10名
場所：札幌グランドホテル 東館3階 月の間
演題：「障がい者歯科治療の実践と注意点」
講師：北海道医療大学 口腔構造・機能発育学系

小児歯科学分野 齊藤正人 教授
障がい者歯科臨床について症例を交え概説し、歯周治療の際に注意すべき問題点とその対応や治療時に問題となる服用薬など障がい者歯科治療のリスク軽減策について講演していただいた。
講習会の後、懇親会を行なった。

(舟木理一郎 記)



旭川

ASAHIKAWA

デンタル・タウンミーティング
日時：平成29年12月2日(金)

午後5時より
場所：旭川歯科医師会館
デンタル・タウンミーティング2017が、歯科医師会会員、旭川市議会議員出席のもと、開催された。
藤田 道歯会長と大西 道歯専務理事から北海道歯科医師会報告があり、高橋 道歯

副会長より「歯科医療ができること」の題で講演いただいた。デンタル・タウンミーティングの前には、井谷 道歯常務理事より社会保険の講習会をし



ていただいた。
北海道歯科医師会の役員とたくさん対話のできた集会となった。

(上津誠司 記)



空知

SORACHI